

# 佛心

二〇一八年六月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

真言、超世希有の  
しょうぼう もんし ちりよ  
正法、聞思して遅慮す  
ることなかれ。」(註  
釈版一三二頁)

## 信心、輪廻転生そして因果応報



この表題はあなたの注意を引き付けたでしょうか？これらはこの4月最後の法話で述べた概念です。ここでこれらの概念に立ち戻り、少し補足を加えたいと思いますが、それに納得するか否かはあなたの判断に任せます。これらは仏教における根本的な概念であり、あなたの心が澄んでいるときにこそ受け入れることが出来るでしょう。

まず第一に信心とは何でしょうか？いちばん簡単な答えは、それは阿弥陀様の御心に接したとき一寸の疑いもなくそれを信じることと思えます。一寸の疑いもない、では信心をさえぎる障害物とは何でしょうか。親鸞聖人全集第一巻に以下のお言葉が書かれています。

「ああ、弘誓の強縁、多生にも値ひがたく、  
しんじつ じょうしん おつこう もうあ  
真実の淨信、億劫にも獲がたし。たまたま  
ぎょうしん え おつこう  
行信を獲ば、遠く宿縁を慶べ。もしまたこ  
ぎょうしん え おつこう  
のたび疑網に履蔽せられば、かへつてまた曠劫  
きやうりやく まこと  
を経歴せん。誠なるかな、攝取不捨の

(口語訳)「ああ、この大いなる本願は、いくたび生を重ねてもあえるものではなく、まことの信心はどれだけ時間を経ても得ることはできない。思いがけずこの真実の行と真実の信を得たなら、遠く過去からの宿縁をよろこべ。もしこのたびその本願を疑う網におおわれたなら、かえってまた長い間輪廻転生の流転を繰り返す。阿弥陀如来の“必ず救う。我に任せよ。”の本願のいわれを聞きひらき、疑いたためらってはならない。」

これは難解中の難解なもので、我々の信心を邪魔する最大の障害物でしょう。この疑いの心により、私たちは生と死の限りのない繰り返しを運命付けられています。このことが次の概念である輪廻転生につながります。私たち仏教徒は、この概念をヒンズー教から取り入れました。すなわち仏教とは約2600年前にインドの大地に目覚めたものです。

さてあなたは輪廻転生を信じてますか？私たちのほとんどは信じてないでしょうし、この概念を疑っていることでしょう。私たちの科学的な心はこの概念を拒絶するでしょうが、これは仏教の根本的な真理になります。私たちが毎週唱える

お経は、終わりのない生と死の繰り返しを述べています。近代、そして現在のデジタルの時代では輪廻転生を語ることはほとんどありませんが、七高僧と親鸞聖人のすべてはこの生と死の繰り返しを述べています。

そして次の因果応報につながります。因果応報という概念は、今の社会において広く受け入れられています。それは今の生における悪い行いと、今の生の悪い結果を結び付けています。しかし、もし私たちが輪廻転生を信じるなら、前世の因果は今の生につながります。さらに今の生に因果を積み上げるならそれが来世につながり、それが繰り返し繰り返し続きます。

この因果応報の優れた解説は、“エンタリング・ザ・ストリーム”という、あのキアヌ・リー・ブス主演の映画“リトルブッダ”を監督したベルナルド・ベルトルッチの著作に書かれています。

ベルトルッチは“因果応報とはサンスクリット語の「行動」を意味する”と書いています。因果応報の教えとは、私たちの今の行いが、後の行いに必然的な影響をもたらすことです。ほとんどの場合、多くの人が当たり前と考えた原因と結果の関係を日々もたらします。もしボールを蹴とばすなら、当然そのボールは転がります。もし航空券

を失ったら、大変な思いで後始末に追われます。因果応報とは行動に対する結果です。

しかしながらお釈迦様によれば、結果をもたらす行いとは気が付かないほどのささやかなレベルで発生しています。時には行動によっておこる結果が同時に起きるとは限りません。例として適切ではないかもしれませんが、あなたが誰かを林の中で殺めたとします。目撃者はなく証拠もありませので、誰もあなたのことを微塵たりとも疑いません。でもそこには生々しい殺害の瞬間があり、それはそのまま忘れ去るものでしょうか？いいえ、それはあなたの記憶に鮮やかに残ります。でも記憶とは何でしょう？お釈迦様によれば、行いとは自然に消えるものではなく、それにより発生する結果はしばらく後に現れることがあります。すなわちそれが現われる条件が整ったときに現れます。その恐ろしい殺害の瞬間は、フラッシュバックのように突然よみがえることがあります。でもそのフラッシュバックはあなたに起こるのでしょうか？この問いは因果応報、すなわち生まれ変わりにあるいは輪廻転生に関連してきます。

インドにおけるお釈迦様の時代、紀元元年からさかのぼる千年の間、この生まれ変わりは当たり前のように信じられていました。

インド思想における輪廻転生によれ

ば、人は異なる肉体や世界に何度も生まれ変わります。あるときは神として、またある時は地獄に生まれ変わります。あなたの今の行いが、未来の生まれ変わりに影響を及ぼします。もしあなたがめつく意地悪ならば、次の世にはフンコロガシのような虫に生まれ変わるかもしれません。もしあなたが大変に立派ならば、次の生で神、王、あるいは女王に生まれ変わるかもしれません。殺人を犯した人は、一連の生まれ変わりのたびに恐ろしい状況に置かれるでしょうし、それ以外でも彼の行動に対する反動があるでしょう。すべては彼が前世に犯した罪によるものとベルナルド・ベルトルッチは述べています。

親鸞聖人は、彼の教えを守る人々にはこの限らない生と死の繰り返しから脱却出来ることを説いており、それには私たちが念仏の教えに心を開き、信心することによって得られると説いています。私たちはすべての疑念を捨て、阿弥陀様と念仏の力を信じなければいけません。それは易しくもあり、また最高に難しいものでもあります。ここで親鸞聖人のお言葉で締めくくりたいと思います。

ぐとくしんらん よろこ

「ここに愚禿親鸞、慶ばしいかな、

せいばん げつし しやうてん

とうか

じついき

西蕃・月支の聖典、東夏(中国)・日域

(日本)の師釈に、遇ひがたくしていま遇ふことを得たり、聞きがたくしてすでに聞くことを得たり。真宗の教行証を敬信して、ことに如来の恩徳の深きことを知んぬ。ここをもつて聞くことを慶び、獲ることを嘆ずるなりと。」(註釈版一三二頁)

(口語訳) 「(親鸞聖人ご自身が) なんと喜びであろうか。西方に位置するインドからの經典。中国、日本の高僧による注釈との稀有な巡り遇い。既に高僧方の教えを聴くことができている稀有な体験。その浄土へ向かう本質である阿弥陀如来の大悲の教・行・信に遭遇えたことを謹んで受け賜ります。」

念仏の教えを信じることにより私たちの宗祖親鸞聖人に従い、そしておそらく今の生において信心する喜びを覚え、そして浄土に生まれ変わることでしよう。

生まれ変わりましたよう、そして因果応報の連鎖は断ち切れるでしょう。

南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏。

デニス・マドコロ



私の両親はハミルトン仏教会の会員でしたが、私がまだ子供だった頃、お寺の

日曜法要には定期的に参加してませんでした。

私が兄弟と一緒に日曜法要に参加するようになったのは、母が卵巣がんと初めて診断された2001年でした。母は闘病のあと2003年10月3日に他界しましたが、私がその後も日曜法要への参加を続け、母の死を乗り越えられたのは、仏話の奥深い真理のおかげでした。

その後、私はお寺の世話役になり、主人は維持保全担当になりました。数年経った後、お寺に大きな補修が必要になったとき、私たちには財政的な裏付けがないことを痛感しはじめ、結局、役員会および会員たちの合意のもと、ハミルトン日系文化会館への引っ越しを決めました。その理由は、それがお寺のみならず同日系文化会館にとっても価値あるものであり、それにより私たちは日本文化に興味ある人たちと交わることができ、お寺の会員数も増えると判断したからでした。

結果2013年、お寺を売却し、同日系文化会館への引っ越しを実行し、同時に私は兄弟の後を継ぎハミルトン仏教会の総代に就任しました。

引っ越しを決断した際、自分にとってお寺との交わりに変化が生じるか心配しましたが、大事なのは僧侶であり、そこに集うサンガであり、法であることを痛感したものです。

最初のころは日曜法要を無事に執り行えるか心配しましたが、慣れるにしたがつて落ち着きを得、今では葬儀も執り行えるようになりました。しばらくの間、声を出してお経を読むことに慣れませんでした。今では読経を楽しみ、それが自然となり、また心の落ち着きを覚えるようになっています。

その後の数年間、月に一回の日曜法要では新会員に十分なものを提供できないと感じたため、2015年からはマインドフルネス・メディテーションを月二回始めました。マインドフルネスの実践は、日々の生活にも役立つと考えています。自分がマインドフルの状態のとき、すなわち自分の意識や心に集中しているときは感謝の心と共に他人に対する思いやりの心が芽生えます。私は必要に応じてマインドフルネス・メディテーションを主宰しています。

また私はハミルトン日系文化会館の交友会シニアグループの世話役も担当し、このグループは月に一回集まっています。

さらにカナダの年次総会、ハワイ、日本、カルガリー等で開催される世界大会、ワシントン、シカゴ、クリーブランド、シールブルックでの東部仏教徒会議にも参加し、タコマ、ロスエンジェルズ、ホノルル、フェニックス、モントリオール、オタワの日曜法要に参加する機会に恵まれるようになりました。

浄土真宗の教えには深く感謝しており、これからも自己の研鑽を通じてさらに成長し出来ると考えています。

合掌

マリーリンフレイザー、総代、ハミルトン仏教会



# 浄土真宗本願寺派 カナダ教団年次総会 (AGM)

4月25日～4月29日の間、アルバータ州のカルガリー寺院で浄土真宗本願寺派カナダ教団の年次総会 (Annual General Meeting) が開かれました。

カナダ全国の寺院から開教使ならびにご門徒役員方がカルガリー寺院に集まり、今後のカナダ教団の方針などが議論されました。私自身も各寺院の開教使や役員方と顔を合わせることができ、有意義な時間を過ごさせていただきました。

また、各寺院のサクセス・ストーリーでは今年始に日系レストランさんらと協力し開催した「Hatsumode(初詣 Event)」を報告。

多くの役員からそのEventの反響と今後の展開について質問され、トロント本願寺自身これから多くの方々の支援を源に護持発展していく旨を伝えました。

ワークショップでは生田グラント先生と組み、お袈裟や作法といった勤式中心のレクチャー。今後も少しでも読経に親しみを持ってもらい、一緒にお経をいただければと思います。

合掌



## TBCピクニックデイ!!!

6月10日(日) 10AM～6:30PM

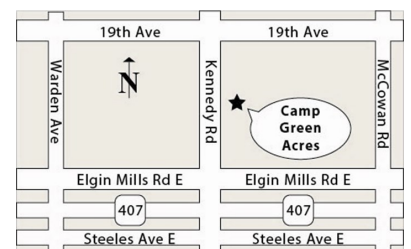
場所：キャンプグリーンエーカーズ (11123 Kennedy Rd. Markham)

参加費：自動車：5ドル (運転手一人を含む)

：大人：3ドル (16歳以上) ただし65歳以上は無料

：子ども：無料 (15歳以下)

家族や友人と一緒に外で食事をしたり遊んだり、のんびりとした時間を過ごしませんか? ミニゲームやビンゴ大会などもあります。





# お盆のご案内



大内祐真 開教使

Toronto Necropolis 9 AM

St. James 9:30 AM

Mount Pleasant & Skeena  
River Monument following  
central service 10:30 AM

高橋和法 開教使

Prospect 9:30 AM

Parklawn 10:30 AM

アキ池端

Pine Hills 9:30 AM

Rest Haven 10:30 AM

ポール青木

Glen Oaks 9:15 AM

Spring Creek 10:00 AM\*

デニス間所

Highland Memory Gardens 9:30 AM

Elgin Mills 11 AM

マーティン・カートレッジ

York 9:30 AM

ジェシー江畑:

Sanctuary, North 9:00 AM

Riverside and St. Philips 9:30 AM

ジョージ中野

Sanctuary, South 9:00AM

Meadowvale 1 PM

(or time to be arranged)

ジョン西川

Glendale 9:30 AM

ポーリン・クヌーデ

Pine Ridge 1:00PM

Salem 1:30PM

合掌 南無阿弥陀仏

トロント仏教会で  
お待ちしております。

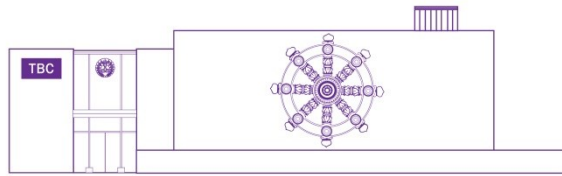
今年の盂蘭盆会には、浄土真宗本願寺派ハワイ開教  
区（BCA）の開教総長である高橋和法先生が御講師  
としてここトロント仏教会に来られます。高橋先生は、  
柔らかくも鋭く、親しみ深い話し口調で仏さまの教  
え、阿弥陀如来のおはたらきを説いてくれます。  
お勤め後、高橋先生の御法話を聴聞し、浄土真宗の  
み教え、仏教に心を寄せてみませんか。

場所：トロント仏教会（トロント本願寺）

英語法要（午前十一時から）  
日本語法要（午後二時から）

日程：七月十五日（日曜日） ※十四日は各お墓参り  
時間：初盆法要（午前九時から）

うら ぼん え  
盂蘭盆会



**会員登録  
新規／更新**

**オンライン登録  
新規／更新**

## 会員登録のお願い

2016年が過ぎ、また2017年度会員登録のお願いの季節になりました。昨年も会員登録数が増え、300名を超えました。この順調な増加傾向はトロント仏教会の将来に向けた心強い流れになっています。しかしながらなお、いまだに会員登録をされていない方がおられます。

言うまでもなく、トロント仏教会の将来は会員の皆様に依存しており、ここに今年度の会員登録と会費のお支払いをお願いするものです。

トロント仏教会は常に会員特典の向上をめざしておりますが、ここにいくつかの特典を列記します。

1. トロント仏教会の運営に関する投票権の取得、例えば総代表および各会リーダーの選出、予算の決裁その他トロント仏教会の将来に関する重要な事項等。
2. “Jodo Shinshu values of the Temple” の定期購読
3. 現行会員による無料公証業務
4. CAA Premium-level の割引
5. トロント仏教会特別行事への参加費用の免除あるいは一部減免

**一般会員**とは各年1月1日から12月31日まで有効で、トロント仏教会の会員として活動するにあたり、年初において速やかな会員登録をお願いします。会員登録と会費（2017年の会費は最低\$100から\$125に上がりました）の受理後（あるいは5月31日までに支払うとの確約後）、会員カードを送付します。